

はじめに

小学校外国語活動・外国語科授業において、英語のコミュニケーション活動は「話す活動」や「やり取り」、「発表」が大きな役割を果たしています。しかし、日本の子どもたちが、日常的に慣れ親しんでいる母国語の「音声」を紙と鉛筆で「文字」化して練習をするように、英語学習でも「音声」と「文字」を一体化して習得させていくことが大切です。そして、この「文字」も、コミュニケーションの1つの手段であることを忘れてはいけません。

外国語学習において、「音声」と「文字」は切り離せない活動なのです。

しかし実際は、音声での「やり取り」のためのインプット活動やゲームを心待ちにして授業に臨む子どもが多い一方で、「書く活動」になかなか前向きになれないという課題があります。それには、教師の「書く活動」の取り入れ方や教材に問題がある場合もありますが、ICT活用が進んでいることも理由の1つだと思っています。

ICTを活用して、「知りたいこと・伝えたいこと」を即座に表現できることは、子どもたちが「話す活動」で大幅に表現力を上げることを可能にしています。同時に、翻訳や世界の情報をすぐに得られることにより、小学生の子どもたちにとって英語がぐっと身近な存在になっていることも確かです。

一方で、子どもが「間違い」（入力ミス）をデリートキーで難なく一瞬にして訂正できるようになったことで、従来の「紙と鉛筆」で忍耐強く文字と向き合う学習法の「煩わしさ」が助長されているように感じられてなりません。実際に、「書く活動」でイライラ感を募らせてしまう子どもも少なくないのが現状です。

普段の授業から、少しずつ「紙と鉛筆で文字をなぞる」「4線に書き起こす」「何度も書き直して文字認識を高める」などの「じっくり文字と向

き合う」時間を取り入れることが子どもたちの文字認識には欠かせません。そして、この文字認識を高めるためには、子どもの「忍耐力」と「集中力」が重要な要素となります。だからこそ、こうした力を養うために必要な教材の選定が、教師の大きな役割となるのです。

- 「文字に慣れ親しむ活動」がただの書写になっていませんか？
- 単語学習が音声と結びつかない「読む」「書く」だけの教材になっていませんか？
- 子どもが取り組みやすい、心理的負担を軽減する工夫がありますか？
- 「個別最適な学び」の教材で子どもの学習に伴走できていますか？

本書では、「教室に笑いと英語があふれる授業」を実現させるために、3年生から6年生まで楽しく取り組むことができる「読む活動」「書く活動」の教材を盛りだくさんに集めました。小学校の外国語活動・外国語科授業において、とくに「書く活動」は音声学習の補助的活動です。この補助的な役割を最大限に発揮するために、収録しているワークシート教材は、インプットでも使用でき、子どもの文字認識を高めることをねらいとしています。

どのワークシート教材も、子どもたちが「楽しい!」「かわいい!」、そして、「英語を学んで、おもしろい!」と笑顔いっぱいニコニコしながら取り組む姿を想像しながら作りました。ぜひ、先生方の教室で、“笑いと英語があふれる授業づくり”にお役立ていただければと願っております。

2025年7月

増淵 真紀子

CONTENTS

はじめに 2

Introduction

授業の構成は理論に沿って 8
 インプットがカギ 9
 言語材料紹介・言語活動（やり取り）へ 10
 コミュニケーション活動として 11

Chapter 1

大文字を楽しく学ぶ！

読む！書く！わくわくワークシート

使い方とポイント 14

1 ABC 表 15	8 色塗りワーク③ FOODS 22
2 Dot to Dot 大文字① BEAR 16	9 色塗りワーク④ VEHICLES 23
3 Dot to Dot 大文字② OMELET 17	10 なぞるワーク① Colors 24
4 Dot to Dot 大文字③ TURTLE 18	11 なぞるワーク② Animals 25
5 Dot to Dot 大文字④ PANCAKE 19	12 なぞるワーク③ Foods 26
6 色塗りワーク① COLORS 20	13 なぞるワーク④ Vehicles 27
7 色塗りワーク② ANIMALS 21	14 ABC あなうめ① 28
	15 ABC あなうめ② 29
	16 ABC あなうめ③ 30
	17 ABC あなうめ④ 31
	18 ABC 表書いてみよう 32

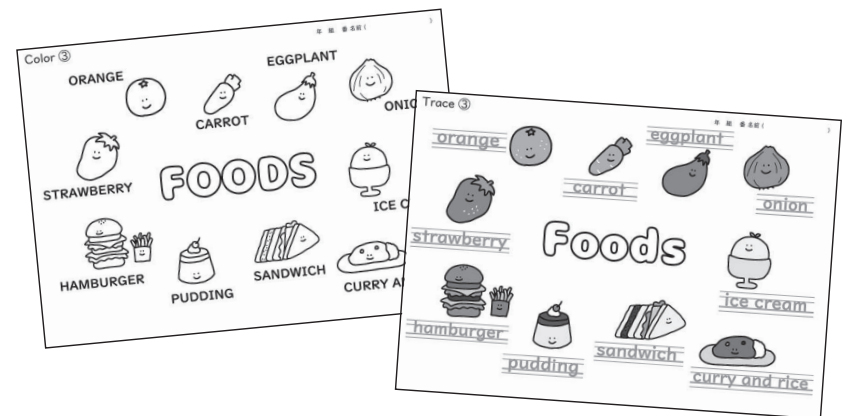
Chapter 2

小文字を楽しく学ぶ！

読む！書く！わくわくワークシート

使い方とポイント 34

19 abc 表 35	27 色塗りワーク④ stationery items 43
20 Dot to Dot 小文字① balloon 36	28 なぞるワーク① weather 44
21 Dot to Dot 小文字② robot 37	29 なぞるワーク② clothes 45
22 Dot to Dot 小文字③ hedgehog 38	30 なぞるワーク③ time 46
23 Dot to Dot 小文字④ crayfish 39	31 なぞるワーク④ stationery items 47
24 色塗りワーク① weather 40	32 abc あなうめ① 48
25 色塗りワーク② clothes 41	33 abc あなうめ② 49
26 色塗りワーク③ time 42	34 abc あなうめ③ 50
	35 abc あなうめ④ 51
	36 abc 表書いてみよう 52



Chapter 3

高学年の外国語科授業で楽しく身につく！ 読む！書く！わくわくワークシート

場面別単語練習ワーク：使い方とポイント 54

37 色 Colors 55	49 国 Countries 67
38 形 Shapes 56	50 家族 Family 68
39 果物 Fruits 57	51 衣類 Clothes 69
40 野菜 Vegetables 58	52 身体 Body parts 70
41 お菓子 Snacks 59	53 教科 Subjects 71
42 ごはん Foods 60	54 文房具 Stationery items 72
43 飲み物 Drinks 61	55 学校 School 73
44 動物 Animals 62	56 学校行事 School events 74
45 自然 Nature 63	57 仕事 Jobs 75
46 スポーツ Sports 64	58 形容詞 Adjectives 76
47 月 Months 65	59 場所 Places 77
48 曜日 Days 66	

線で結ぶ→なぞるワーク：使い方とポイント 78

60 色 Colors 79	67 スポーツ Sports 86
61 果物 Fruits 80	68 月 Months 87
62 野菜 Vegetables 81	69 曜日 Days 88
63 お菓子 Snacks 82	70 国 Countries 89
64 ごはん Foods 83	71 教科 Subjects 90
65 飲み物 Drinks 84	72 仕事 Jobs 91
66 動物 Animals 85	73 形容詞 Adjectives 92

Column 1 “Repeat after me!”の限界 93

4線書き起こしワーク：使い方とポイント 94

74 色 Colors 95	82 月 Months 103
75 果物 Fruits 96	83 曜日 Days 104
76 野菜 Vegetables 97	84 国 Countries 105
77 お菓子 Snacks 98	85 教科 Subjects 106
78 ごはん Foods 99	86 仕事 Jobs 107
79 飲み物 Drinks 100	87 形容詞 Adjectives 108
80 動物 Animals 101	
81 スポーツ Sports 102	

Column 2 理論から実践、単語指導のコツ 109

言語活動ライティングワーク：使い方とポイント 110

88 ちゃんと名前を書きなさい 111	93 メキシコ⇄日本の 食文化比較 116
89 掲示で伝える自己紹介 112	94 私の未来マンガ 117
90 HERO NEWS 113	95 お父さんの忘れもの 118
91 思い出のスクラップ 114	
92 TOUR MAP 115	

Column 3 言語活動と練習は別物 119

「個別最適な学び」に役立つワーク：使い方とポイント 120

96 1分間チャレンジ Classroom 121	99 1分間チャレンジ Animal habitat 124
97 1分間チャレンジ House 122	100 個別最適教材 Hot chocolate 125
98 1分間チャレンジ Party 123	101 個別最適教材 Ramen 126

Column 4 小中連携に向けた「文字指導」 127



ご購入・ご利用の前に 必ずお読みください

.....

本書収録のワークシートは、各「使い方とポイント」のページ（P14、P34、P54、P78、P94、P110、P120）の右上部に付したQRコードからpdfデータとしてダウンロードすることができます。

▶ ダウンロードデータについて

各QRコードから弊社管理のGoogleドライブにアクセスし、そこからワークシートデータをダウンロードしてご活用ください。

QRコードからリンクにアクセスできない場合やデータがダウンロードできない場合、教員の方が使用される端末アカウントの自治体や学校のセキュリティの設定が原因となることがあります。その場合、個人の端末やアカウントをご使用いただくと、ダウンロードできる場合があります。

本書発行後にGoogleドライブの機能が変更された場合、ワークシートデータのダウンロードができなくなる可能性があります。また、そのことによる直接的または間接的な損害・被害等のいかなる結果について、著者ならび弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご理解、ご了解ください。

▶ 印刷のポイント

ワークシートのpdfデータは、A4サイズ出力を前提に作成しています。あまり拡大しすぎると画像が粗くなり、文字やイラストの線がギザギザに見える場合もありますので、ご了承ください。

▶ 使用範囲

本書収録のワークシートは、購入された方が児童生徒を対象として授業内で使用する場合に、コピー・印刷して使用することができます。



使い方とポイント

P.15~32の
データは
こちらから!



3年生の外国語活動の授業で、インプットから文字認識まで使い方は無限大! 「英語がはじめて」の子どもでも、楽しく取り組める工夫をちりばめました。

▶ ABC表と色塗りワークはインプットでも使う

音声指導のインプットでの使用例を紹介します。ABC表は、授業の導入でABCソングを歌う際に、指さしをしながら歌うと、音と文字のつながりを意識して歌う手立てになります。

また、Dot to Dotワークや色塗りワークは、各単元の語彙学習の教材として活用できます。フラッシュカードでの単語リピートも必要ですが、子どもの手元に「指さし」をしたり「色塗り」をしたりするタスクがあることで、子どもの語彙学習のエンゲージメントを高めることができます。

▶ Dot to Dot ワークと色塗りワーク・なぞるワーク・ABCあなうめワークは両面印刷で

授業の残り5分で取り組める「Dot to Dotワーク」、そして、個別最適な学びの教材として「色塗りワーク」や「なぞるワーク」がおすすめです。子どもの英語学習経験によって、どうしても個人の取り組みスピードには差が出てしまうものです。早く終わった子の「もう少しやりたい!」に寄り添えるよう、ワークシートを両面印刷で配るといいでしょう。

なぞるワークは「4線がないもの」と「4線があるもの」があります。ABCあなうめワークは、「文字が書き込まれているもの」と「すべてが空欄になっているもの」があります。また、それぞれに「4線がないもの」と「4線があるもの」があります。子どもの取り組み状況を見ながら、先生のオリジナル問題用としてもぜひ活用してください。4線なしのワークに慣れてから、4線ありのワークに取り組むことがポイントです。

1 ABC表

年度始めに配付して、英語ファイルや振り返りファイルに貼り、常に子どもの目に触れるところに収納させたい表です。

ABCソングを歌うときは、この大文字のABC表を指さししながら歌うことで文字認識が高まります。

使用言語材料

A(apple), B(bird), C(cat), D(dog), E(egg), F(fish), G(gorilla),
H(hotdog), I(igloo), J(jelly), K(koala), L(lemon), M(mountains),
N(noodle), O(octopus), P(pig), Q(question), R(rainbow), S(socks),
T(tomato), U(umbrella), V(vacuum cleaner), W(water), X(box),
Y(yo-yo), Z(zipper)

📄 収録しているワークシートデータ
ABC表

ABC表						
年 組 番 名 前 ()						
A 	B 	C 	D 	E 	F 	G
H 	I 	J 	K 	L 	M 	N
O 	P 	Q 	R 	S 	T 	U
V 	W 	X 	Y 	Z 		



使い方とポイント

音声で単語に慣れ親しんだら、いよいよ文字の「読み」「書き」へと移行します。高学年の外国語科の学習で扱うものを厳選しました。

① 線で結ぶ→なぞる (connect and trace)

このワークの効果を最大限にするために、まずは以下の手順を子どもたちに伝えていきます。

- ①イラストを英語で言う
- ②イラストと単語を線で結ぶ
- ③単語をなぞる

この手順にそって1つのイラストごとにワークに取り組み、できあがったら、また次のイラストに進みます。1つの単語ごとに「音声」→「読み」→「書き」の流れをつくるために、まとめて線を結んだり、なぞったりすることがないように注意して見守ってください。

② 大きくのびやかに

「単語をなぞる」をただの流れ作業とならないようにするために、しっかりと文字の高さに注目させることに気を配りたいものです。そうした思いで、本書のワークシートも、4線の幅と文字をできるだけ大きくしました。4線の幅が狭いと、子どもたちにとっては見えにくく、なんとなくで済ましてしまう原因にもなりかねません。

1年生がひらがなを大きく4マスに書くようなイメージで、英単語も大きくのびやかに文字を書く練習に取り組みさせていきましょう。

60 色 Colors

イラストを見てそのイラストを英語で言い、それと合致する単語と線でつなぎ、その単語自体をなぞっていくワークです。1つ1つの単語に取り組みながら、「線で結ぶ→なぞる」を繰り返していきましょう。

場面別単語練習のワークシート (P.55～77) と対応していますので、両面印刷にしたり、あらかじめ配付しておいたりして、しっかりと音声として定着した状態で取り組むようにするのがポイントです。

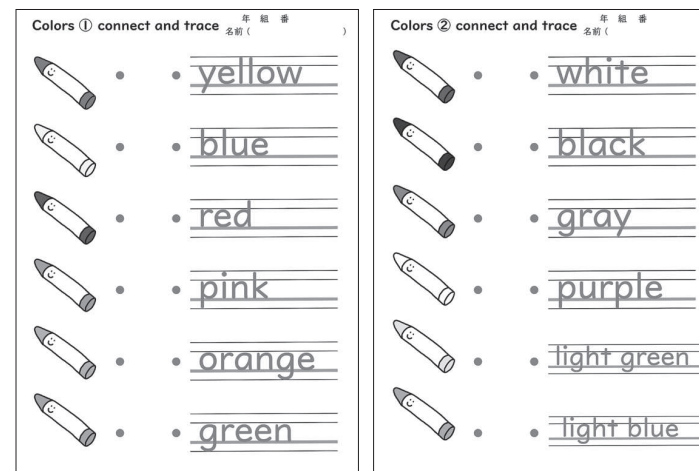
この「色」のワークシートについては、多くの学校現場ではモノクロ印刷で配付することと思います。その際、ICT機器でカラーを映し出して提示するか、教師が色を発音するようにしてください。

使用言語材料

red, yellow, blue, green, orange, pink, purple, black, gray, white, light green, light blue

収録しているワークシートデータ

色 Colors ①、色 Colors ②





使い方とポイント

ここからは、短文練習や単元末の「書く活動」、パフォーマンステスト前の準備で使えるワークシート教材を紹介します。どれも、「言語活動」の中の「書く活動」として効果的に活用していただけるものばかりです。

🎯 場面や状況設定を用いた活動に

5年生の外国語科授業の最初には、ヘボン式ローマ字による名前の練習があります。これも、ただ単に名前を4線に書かせるのではなく、「持ち物に名前を書く」という状況設定を用いることで、「書く」ことによる小さな「言語活動」として取り組むことができます。

「ただひたすらに何度も練習！」としてしまうと、単調な作業感が出てしまい、子どものエンゲージメント（取り組み度合い）も下がってしまいます。また、書いているうちに訓令式ローマ字と混同してしまう子も少なくなく、さらにイライラが募ってしまいます。

🎯 短文練習・言語活動としての「書く」活動

ここで紹介するワークは、どれもモデルライティングを添付し、「読む活動」として活用したり、なぞり書きもできたりするような仕掛けになっています。そのため、いきなり子どもが自力で書いてつまづくことのないよう、ステップアップ方式で学習することができます。ただの書写ではなく、伝える相手への意識や目的、状況を設定していますので、ぜひ一言説明をしてから取り組ませるようにしてください。

また、いくつかのワークシートには、イラストや写真を貼り付けることができるスペースがあります。ここに絵を描かせてもいいですし、4線に書いたライティングをICT機器で撮影して、そのデータを取り込み、スライドに貼ることでネットから写真をもってくることもできます。こうした仕掛けもフル活用して子どもたちのやる気を引き上げていきましょう。

増渕真紀子・(2024)・小学校英語サポート BOOKS 教師1年目から使える！英語授業アイテム&ゲーム 100. 明治図書出版

88 ちゃんと名前を書きなさい

ヘボン式ローマ字での名前ライティングの練習に大活躍するワークシートです。自分の名前を持ち物イラストの4線に書き入れながら練習します。

4線の長さに合わせてフルネーム、苗字のみ、名前のみなど、子どもに書き方を考えさせながら記入させていきましょう。

使用言語材料

各自の名前

📄 収録しているワークシートデータ

ちゃんと名前を書きなさい

